



田山保育所の子どもたち

12月定例会

21議案を可決

下水道分担金など決定

市議会12月定例会は、昨年12月12日から19日まで開催されました。一般質問では10人が登壇し、いじめ問題や団塊世代の退職問題などについて質問しました(8~17頁参照)。また、今回の定例会では、「八幡平市特定環境保全公共下水道事業受益者分担金に関する条例」など21議案を審議し、全議案が原案のとおり可決されました。なお、9月定例会で継続審査となった2件を含む9件の請願のうち、1件が不採択となったほかは、いずれも採択となりました(7頁参照)。

全会一致で可決したもの

▼人権擁護委員候補者の推選に関し意見を求めることについて

平成19年3月31日で人権擁護委員の任期が満了する大森貞子さん(清水)を、再び同委員に推せんしようとするものです。



大森貞子さん

▼岩手県後期高齢者医療広域連合の設立の協議に関する議決を求めることについて

後期高齢者医療制度の事務(75歳以上の高齢者の医療給付や保険料の賦課などに関する事務)を共同処理するため、県内全市町村で構成する広域連合の設立に

ついて、関係市町村と協議しようとするものです。(平成19年2月1日施行)

問 この新しい制度では、全国的な平均で1人当たり月6200円の保険料を徴収することになり、保険料を滞納すると、国保税と同じく資格証明書を発行することになっている。これまでの老人保健事業では、仮に滞納があっても資格証明書の発行は禁止されていて、高齢者の医療は守られていた。滞納で医療が受けられない場合の対応を伺いたい。

答 資格証明書の発行については、家庭状況や病状を勘案しながら、一律の発行にならないように、平成20年4月の制度開始までに会議などを通じて申し述べていきたい。

問 この制度では、医療報酬に包括支払い制度が盛り



75歳以上を対象とした後期高齢者医療制度の平成20年4月施行に伴い、今年3月末までに広域連合が設立される予定です(写真・寺田地区敬老会)

込まれている。病気あるごとに治療期間が定められ、その期間を超える治療については、自己負担となるおそれがあるが、これらの対応をどう考えているか。

問 広域連合協議会の議員数が、規約では県内市町村長から10人、県内市町村議会議員から10人となっている。これでは、広域連合協議会に議員を出せない市町村が4割近くとなり、不合理である。見解を伺う。

答 全国的に、1万人に1人という形で進んでいると伺っている。その算定根拠などは詳しく伺っていない。

問 この制度は、全市町村の加入が義務付けられているが、提案されている広域連合規約が県内のどこかで否決された場合、どう進行していくのか。

答 1市町村でも否決された場合、岩手県の広域連合は成立しない。地域の医療を守る観点からも、ぜひ議論していただきたい。

八幡平市特定環境保全共下水道事業受益者分担金に関する条例
安代地区で整備が進められている公共下水道事業の受益者分担金の額を定めようとするものです。
なお、分担金の額は、1カ所当たり20万円です。(平成18年12月21日施行)

問 合併という特殊な事情があったが、旧町村単位での農業集落排水事業の分担金は松尾が15万円、安代が20万円、西根が30万円と非常にバラつきがある。公平性、平等性の問題をどう考えているか。

答 結果が等しいのが公平であり、条件が等しいのが公平であるという考えから、受益者分担金の設定に関して、算定基準を統一することで、結果的に分担金の額が違っていても、公平であると考えます。

八幡平市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例
事務用機器や車両などのリースなど、複数年度にわたり契約を締結することが一般的なもののや、庁舎などの維持管理業務など、年度当初や複数年度にわたり提供を受ける必要があるものについて、5年以内の期間内で長期契約を締結することができるとしようとするものです。(平成18年12月21日施行)

八幡平市農産物加工施設条例
松尾寄木に旧松尾村が整備した八幡平市農産物加工施設の管理を指定管理者に行わせようとするものです。(平成19年4月1日施行)

八幡平市幼稚園設置条例の一部を改正する条例
安代地区に設置している市立幼稚園の入園料や保育料の納付期限を変更しようとするものです。
これにより、入園時に納めていた入園料は入園月の末日までに、毎月10日までに納めていた保育料は毎月末日までに、それぞれ変更となります。(平成19年4月1日施行)

市立幼稚園の入園料や保育料の納付期限を変更しようとするものです。
これにより、入園時に納めていた入園料は入園月の末日までに、毎月10日までに納めていた保育料は毎月末日までに、それぞれ変更となります。(平成19年4月1日施行)



市農産物加工施設で作られたりんごジュースは、松っちゃん市場(写真)などで販売しています

▼平成18年度八幡平市一般
会計補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれに5億2383万8000円を追加しようとするものです。補正の主なものは、中小企業振興資金預託金1000万円、除雪業務委託料1150万円、地方債償還金2210万円などです。(このほか、特別会計8会計と事業会計2会計に係る補正予算も可決しました)

問 行政連絡員の報酬について、班制度を取っている行政区の場合、報酬に班長の行動費が含まれているか。

答 行政連絡員の報酬は、基本割3万円と戸数割で積算しており、班長の方々に配慮したものではない。

問 安代地区には97行政区があり、1行政区当たり平均20世帯と少なく、行政区を再編する案が検討されている。経費節約にはなるが、仕事の量が増し、地域活動が進まないと思われる。そこで、行政連絡するための活動に向けるため、報酬ではなく交付金などの形にしてはどうか。

答 3地区の平等性が最も肝心である。メリット、デ

市清掃センターに運び込まれた粗大ごみ



メリットをよく考え、各地の協働の形として見えてくるものに結び付けていくために、本庁ともよく話し合いをする。

問 農業振興費に関して、農地水環境保全対策の要望の取りまとめ状況と今後の進め方は。

答 安代地区、松尾地区は全部、西根地区は約8割の要望が出されている。今後は、ヒアリングや説明会を受けて、地元住民とさらに細かい話し合いを持つていきたい。

問 安代地区は処理施設から遠いことから、粗大ごみの収集に特別配慮をいただいている。収集していただく種目が限定され収集量が

減ったが、今後も制度として継続していただきたい。

答 地域的、距離的、物理的な要件において試験的に収集を継続してきた。19年度以降は、地域の実態などを加味しながら検討したい。

問 地域包括支援センターに関して、特定高齢者の当初の見込み人数と、実際に認定された人数はいくらか。

答 9082人のうち4%に当たる360人を見込んだが、実数は15人である。

問 どのような方法で特定高齢者の認定を行ったのか。

答 認定の方法は、基本検査と循環器検査の検査を受

け、項目別に判断する。それによって、保健師などが直接面談して介護予防プランを作成する。

問 第2段階の介護保険料を、基準額の0.65ではなく、0.5にできないのか。

答 第3期計画は、このままでもいいと考えている。第4期では、十分検討してまいりたい。

問 生活保護の申請の意思がある場合は、基本的に申請を受け付けるのか。

答 常に、相談に来た人について相談に応じて対応して、受け付けあるいは申請をしていただいている。



昨年10月23日、本市を訪れていたタイ国タマサート大学の学生たちが議場を見学し、日本の議会制度を学びました

秋の叙勲

昨年秋の叙勲で、前西根町長の工藤勝治氏が旭日小綬章を、元西根町議会副議長の遠藤三次郎氏が旭日双光章を、それぞれ地方自治発展への功績により授章されました。ここでは、お二人の功績などを紹介します。



工藤勝治氏
(74歳・大更)

工藤氏は、昭和48年9月から昭和62年まで、4期14年間にわたり西根町議会議員を務めたほか、昭和62年9月に西根町長に当選。平成17年の合併に伴い失職するまで、連続5期18年間同町長を務めました。



遠藤三次郎氏
(84歳・西根寺田)

遠藤氏は、昭和36年9月に西根村議会議員に初当選。町制施行により同年11月からは西根町議会議員として、平成元年9月まで連続7期28年間議員を務めたほか、昭和60年から同副議長を1期務めました。

請願9件・発議案5件 1件を除き採択・可決

12月定例会では、9月定例会の継続審査2件を含む請願9件、議員による発議案5件を審議。医師・看護師等の増員を求める請願が賛成少数で不採択となつたほかは、いずれも採択・可決となりました。

◎市道中台線の拡幅改良工事を求める請願（請願者・南平笠行政連絡員高橋清悦氏ほか511人）
この請願は、通行車両の多い当該路線における交通事故防止を目的に提出されました。（全会一致で採択）

◎市道中台線の拡幅改良工事を求める請願（請願者・南平笠行政連絡員高橋清悦氏ほか511人）
この請願は、歩道が未整備である当該区間の交通事故防止を目的に提出されました。（全会一致で採択。併せて発議案を可決し、県知事に意見書提出）
◎農道163号線の舗装を求める請願（請願者・茨川開拓自治公民館長佐々木啓一氏ほか159人）
この請願は、地域住民の

生活に支障を来している当該路線の舗装を目的に提出されました。（全会一致で採択）
◎市道中道線等改良舗装工事（同胞地区）を求める請願（請願者・中村行政連絡員遠藤三郎氏ほか225人）
この請願は、広域的幹線道路としての機能を担う当該路線の早期改良を目的に提出されたものです。（全会一致で採択）
◎市道、平又・根石線の一部、及び長者前線に流雪溝設置に関する請願（請願者・長者の里、地域づくり推進協議会長泉山義信氏ほか26人）
この請願は、流雪溝設置による地域住民の生活向上を目的として提出されたも

のです。（全会一致で採択）
◎安全・安心の医療と看護の実現のため医師・看護師等の増員を求める請願（請願者・県医療労働組合連合会）
この請願は、医療事故を防止するため、医師・看護師の大幅増員を目的に提出されたものです。（実現性が困難であるとの理由により、賛成少数で不採択）
◎後期高齢者の命と健康を守るために後期高齢者医療制度の充実を求める請願（請願者・県保険医協会）
この請願は、平成20年4月から実施される後期高齢者医療制度により、医療格差が生じないことを目的に提出されたものです。（全会

一致で採択。併せて発議案を可決し、厚生労働大臣と県知事に意見書提出）
◎医療病床の廃止・削減と患者負担増の中止等を求める請願（請願者・県社会保険推進協議会）
この請願は、医療病床の廃止・削減を中止し、高齢者が安心して療養できることを目的に提出されました。（全会一致で採択。併せて発議案を可決し、厚生労働大臣と県知事に意見書提出）
◎市道荒田線大更第36地割154番地1の交差点から大更第36地割408番地までの道路の道路環境整備を求める請願（請願者・工藤栄蔵氏ほか27人）
この請願は、大更・北村行政区内にある当該路線の

簡易舗装を目的に提出されました。（全会一致で採択）
◎道路特定財源制度の堅持を求める意見書
この発議案は、目的税である道路特定財源の一般財源化に反対し、制度堅持を国に求めるものです。（全会一致で可決し、衆・参両議院議長と、内閣総理大臣ほか関係大臣に意見書提出）
◎全国森林環境税の創設を求める意見書
この発議案は、地球環境の保護など、森林が持つ公益的機能を維持するため、市町村が森林の維持・育成を行う財源として全国森林環境税の創設を国に求めるものです。（全会一致で可決し、内閣総理大臣と総務大臣に意見書提出）



写真①：秋田県鹿角市との県境に当たり、車の通行も多い一般国道282号兄畑中川原付近



写真②：地域住民の生活道路や通学路として利用が多い農道163号線



写真③：田頭・大更地区と松尾・野駄地区を結ぶアクセス道路として期待される市道中台線



写真④：米代川の最上流の山すそに位置し、積雪の多い長者前、平又地域